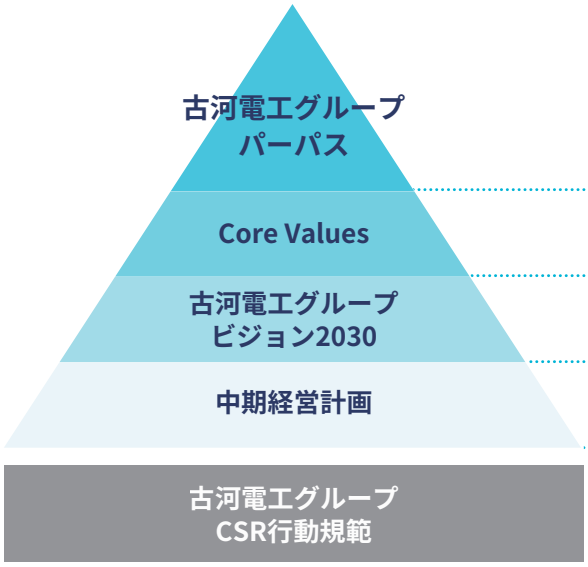
FURUKAWA ELECTRIC GROUP

Corporate Profile

古河電工

古河電工グループの理念体系



古河電工グループ パーパス	当社グループの存在意義であり、私たちの意思決定や行動の基盤となるもの
Core Values	私たち一人ひとりが大切にすべき価値観
古河電工グループ ビジョン2030	私たちの2030年のありたい姿
中期経営計画	ビジョン2030達成に向けたマイルストン
古河電工グループ CSR行動規範	私たちがとるべき基本的行動の規範を定めたもの

古河電工グループ パーパス

古河電工グループ パーパス

「つづく」をつくり、
世界を明るくする。

日々の当たり前の暮らしが、安心・快適につづくこと。
今日よりも豊かな明日へ、社会の進歩・発展がつづくこと。
人と地球の共生が、いつまでも幸せにつづくこと。

よりよい未来へとつながる、そんな「つづく」を、
絶え間ないイノベーションで、つくり、支える。
それが、私たちの存在意義。

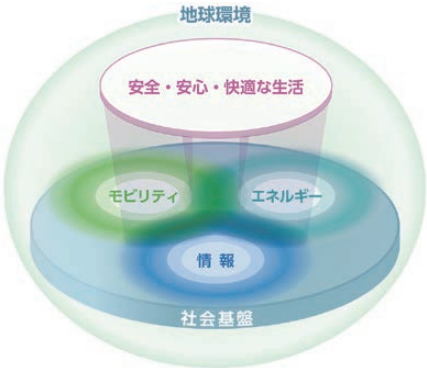
さまざまな社会課題に向き合い、
インフラをはじめ、あらゆる領域を超えて挑戦する。
1884年の創業以来、誠実に磨きつづけてきた、
技術力と提案力を強みに。

私たちは今日もつくりだす、未来への「つづく」を。
世界を明るくするために。

Core Values（コア・バリュー）

古河電工グループ ビジョン2030

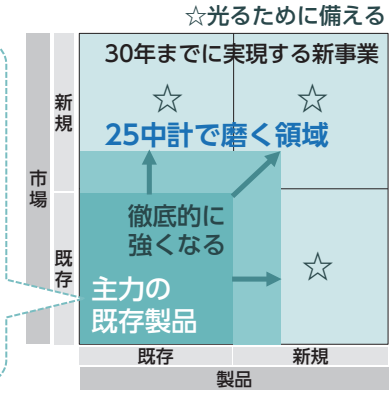
古河電工グループは「地球環境を守り」
「安全・安心・快適な生活を実現する」ため、
情報/エネルギー/モビリティが融合した社会基盤を創る。

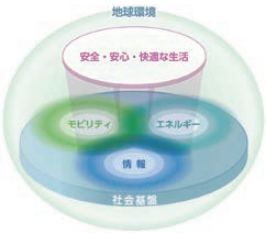


中期経営計画2022 ～ 2025と2030年のありたい姿

古河電工グループは、2025年度を最終年度とした中期経営計画を策定しました。本中計では、古河電工グループ ビジョン2030の達成に向け、「資本効率重視による既存事業の収益最大化」および「開発力・提案力の強化による新事業創出に向けた基盤整備」を推進していきます。

Forward-looking　2025年に向けた資本効率重視による既存事業の収益最大化
2030年までに実現する新事業創出に向けた基盤整備　Backcasting





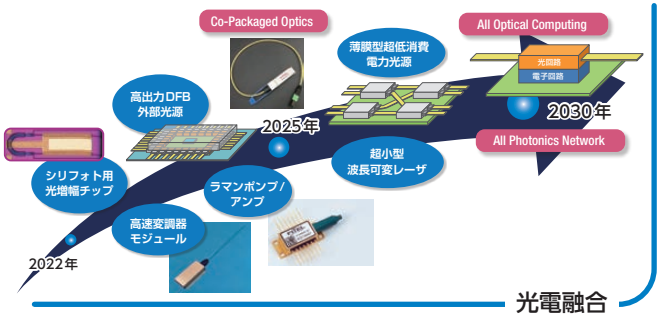
古河電工グループ ビジョン2030

2025年にめざす姿　社会課題解決型事業の強化による成長の実現

2030年のありたい姿　社会課題解決型事業の創出による飛躍

情　報

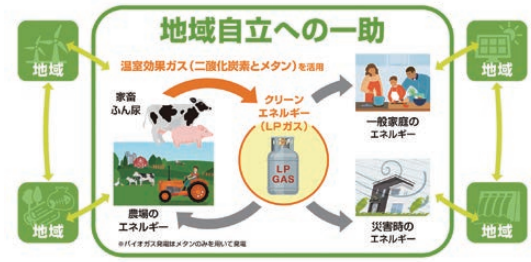
Beyond5G社会の実現　フォトニクス技術で支え社会基盤を構築



光電融合

エネルギー

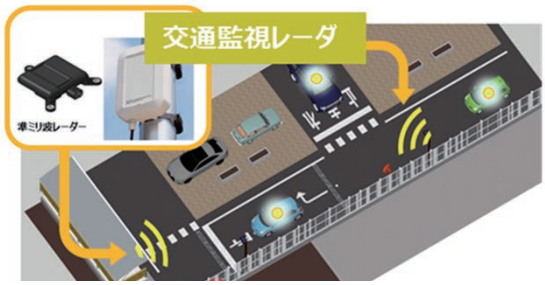
カーボンニュートラルの実現　豊富な経験と技術力で、インフラ強靭化と資源循環型社会を実現



地産地承に向けたグリーンLPガス創出

モビリティ

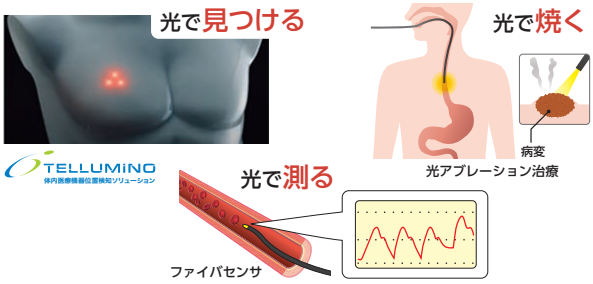
移動の自由の享受　部品、システム、アプリケーションの提供で安全/安心な移動を実現



次世代まちづくり

新領域

安全/安心への社会要請　光技術を応用した医療グレード品質の機器開発を通じ、安全・安心な医療に貢献



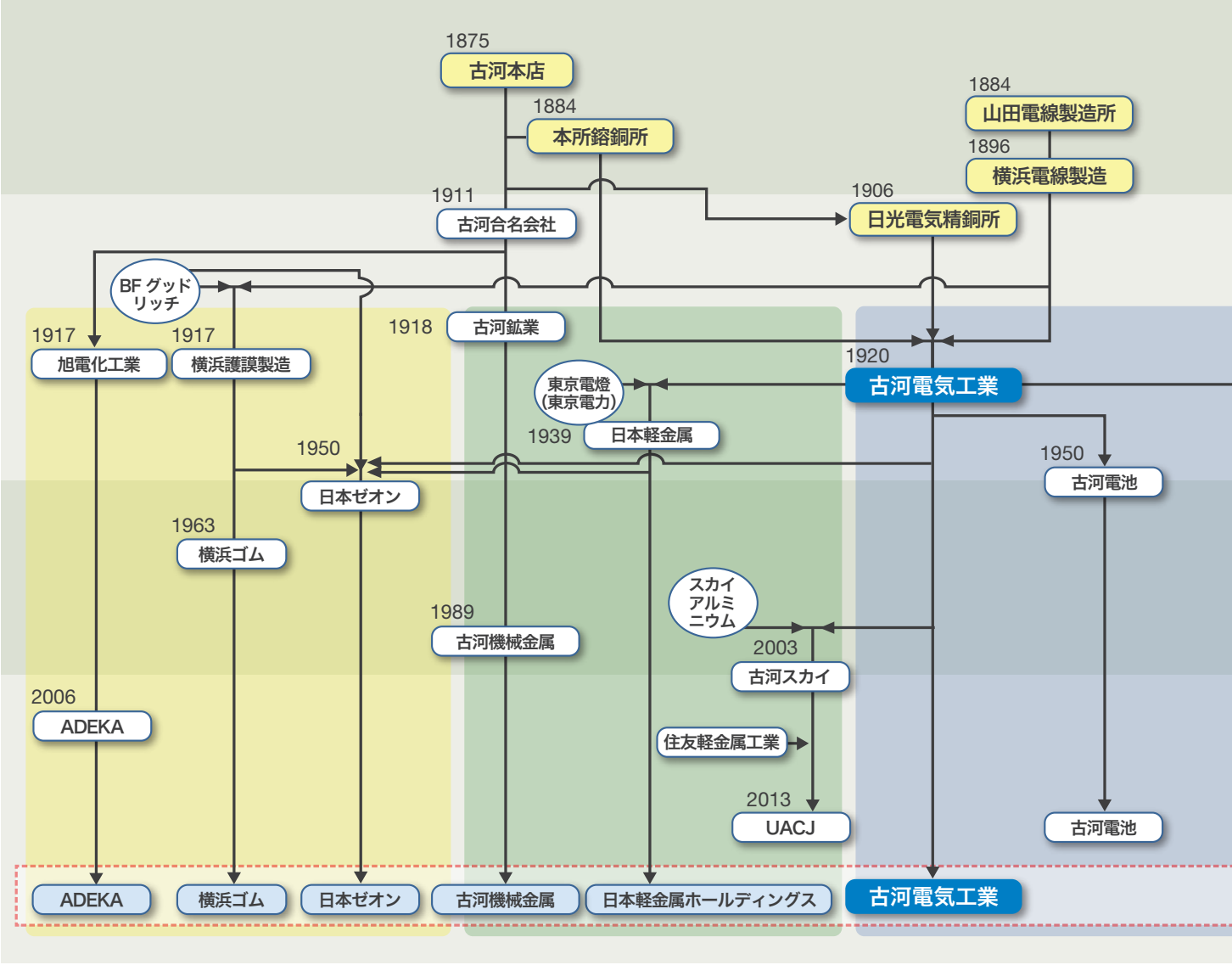
ライフサイエンス

※上記は各領域における事業創出の一例

サーキュラー・エコノミーの実現

古河グループ主要企業沿革

古河グループ 古河グループは、現在、メンバー会社51社をもって任意団体の古河三水会を構成し、10社の理事会社を中核として



古河三水会 理事会社 10 社

古河電工の歩み

1884 本所鎔銅所、山田電線製造所の開設。伸銅品と電線のメーカーとして創業

1897 電気銅線製造を開始

1937 対馬海峡に世界初の無装荷搬送海底ケーブルを敷設

1964 全自動高精度6段圧延機を開発

1974 ブラジルにアルミ電力ケーブル製造販売会社を設立

1889 日本初の電気分銅の試験操業を開始

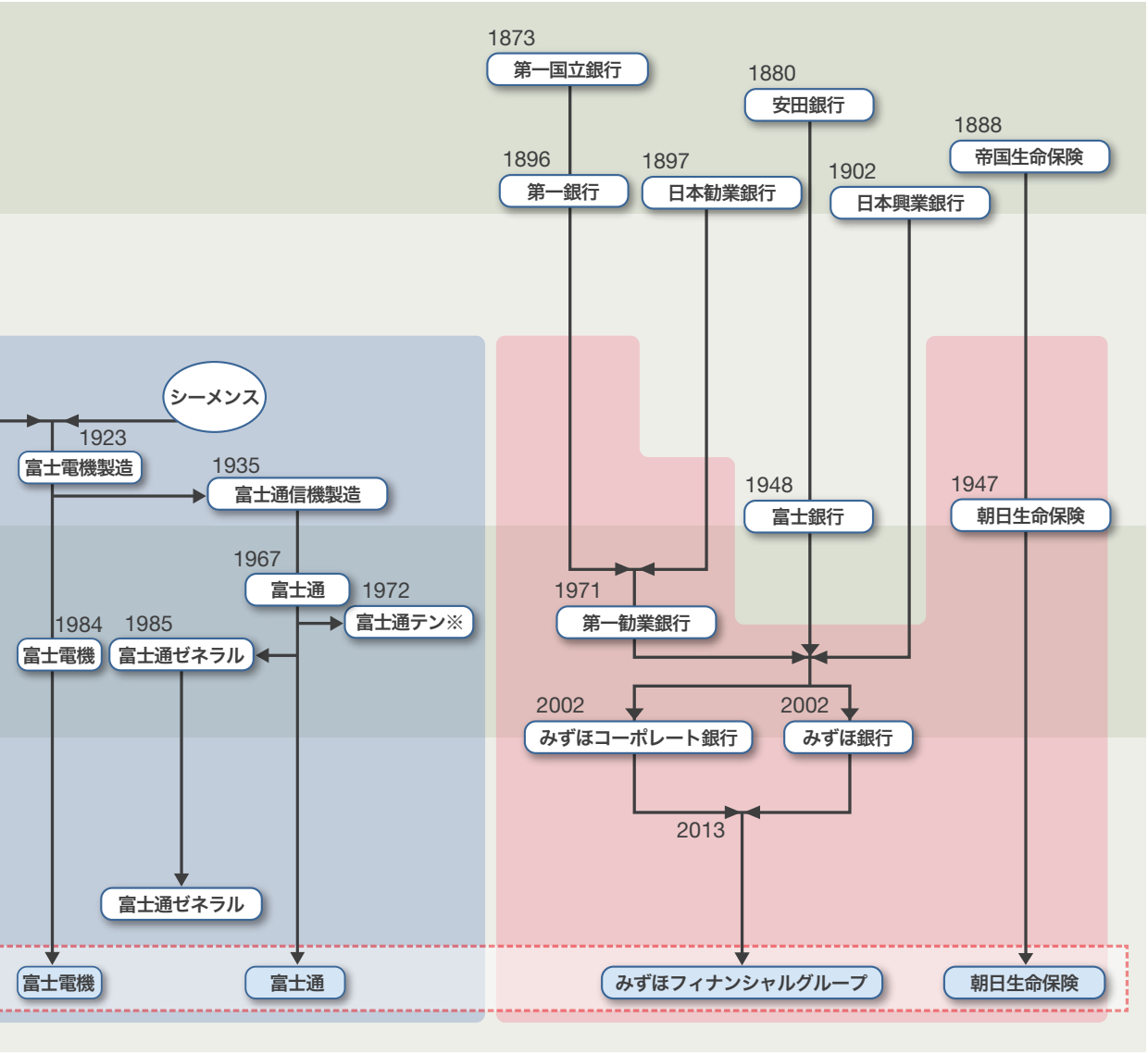
1915 日本初の海底電線を製造

1958 東京タワーにアンテナ・給電線を設置

1971 タイ・バンコク市内の通信網を整備

1974 世界初光ファイバケーブルのフィールド試験に成功

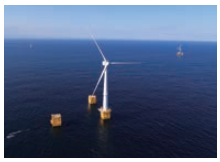
グループ各社相互間の緊密なる協調を図り、それぞれの企業活動の強化促進に努めています。



※ 2017 年に社名変更（現　株式会社デンソーテン）

ルーセントテクノロジーズ社の光ファイバ部門（OFS）買収により、グローバルネットワーク構築に貢献

米国高温超電導線材製造会社SuperPower社を買収



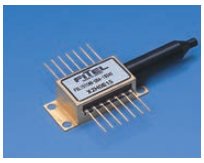
「浮体式洋上風力プラント用超高圧ダイナミック海底ケーブル」開発業務を受注

Blue-IRハイブリッドレーザ「BRACE®」販売開始

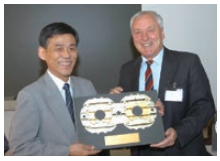
「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の炬火台用燃料として、バイオガスを原料とするグリーンLPガスを提供

2000　2001　2003　2011　2018　2019　2020　2022

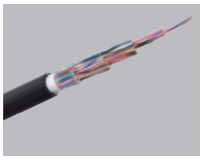
波長多重技術による大容量通信の整備に貢献
（1480nm帯域励起光源レーザ量産）



欧州合同原子核研究機構より超電導線材で特別賞受賞



世界最高水準のコア密度、細径超多心光ファイバケーブルを開発



シリコンバレーに研究拠点を開設

高温超電導線材を英国トカマクエナジー社の先進的小型核融合炉開発機（ST-80）に納入開始

「古河電工の歩み」はこちら⇒
https://www.furukawa.co.jp/company/history/innovation/

古河電工グループ概要

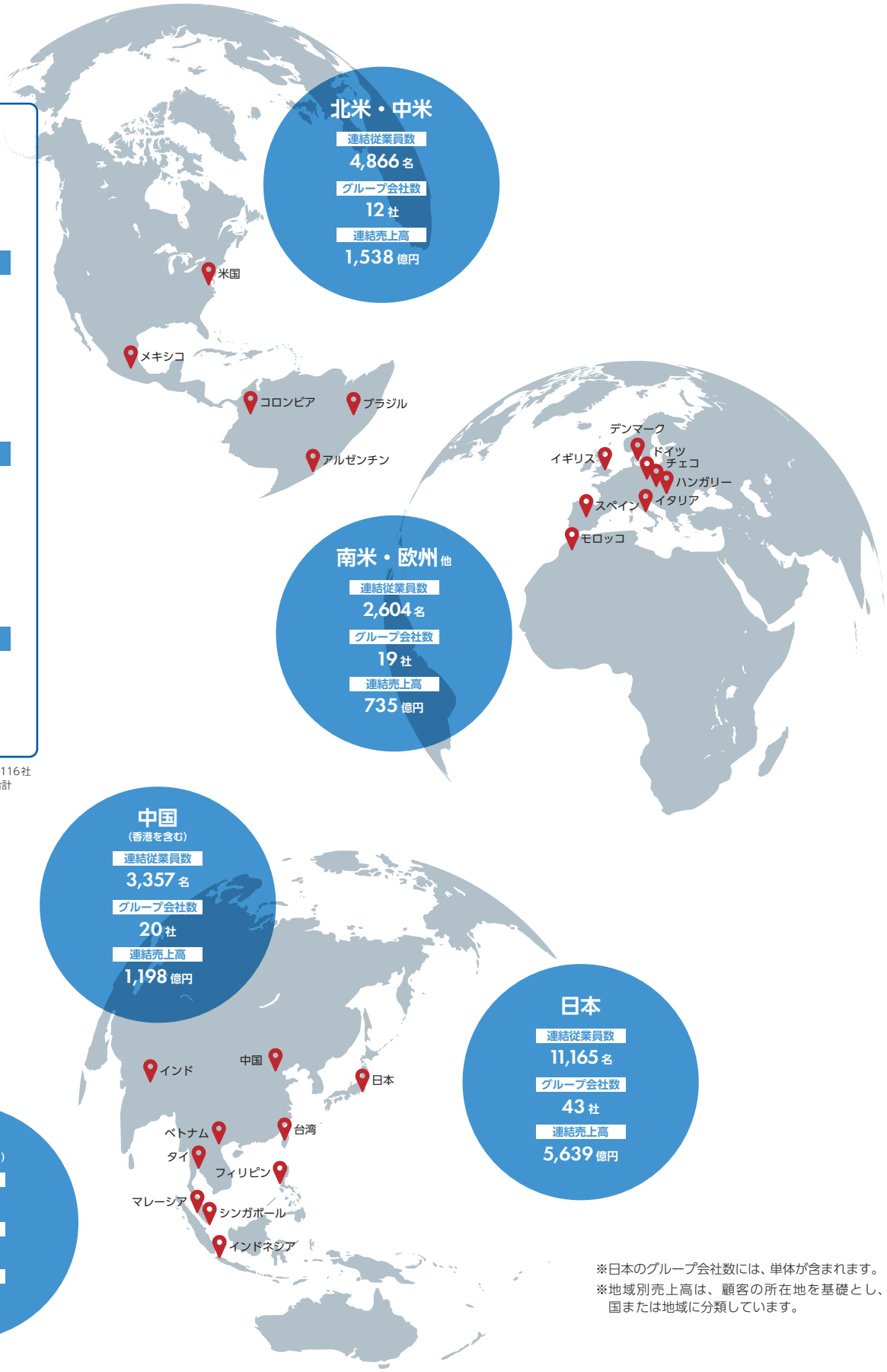
古河電工グループ

連結従業員数
51,167 名
（2025 年 3 月末）

グループ会社数
127 社※1
（2025 年 3 月末）

連結売上高
12,018 億円
（2025 年 3 月期）

※1：古河電気工業（株）単体、連結子会社 116 社
および持分法適用関連会社 10 社の合計



北米・中米
連結従業員数
4,866 名
グループ会社数
12 社
連結売上高
1,538 億円

南米・欧州 他
連結従業員数
2,604 名
グループ会社数
19 社
連結売上高
735 億円

中国
（香港を含む）
連結従業員数
3,357 名
グループ会社数
20 社
連結売上高
1,198 億円

日本
連結従業員数
11,165 名
グループ会社数
43 社
連結売上高
5,639 億円

アジア
（日本・中国を除く）
連結従業員数
29,175 名
グループ会社数
33 社
連結売上高
2,907 億円

※日本のグループ会社数には、単体が含まれます。
※地域別売上高は、顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。

グループ概要はこちら⇒
https://www.furukawa.co.jp/company/group/japan.html

国内拠点

本 社 東京都千代田区大手町２丁目６番４号（常盤橋タワー）

事業所 7拠点（千葉事業所 / 日光事業所 / 平塚事業所 / 三重事業所 / 横浜事業所 / 銅箔事業部門（日光市）/ 羽田事業場）

支社・支店 8拠点（北海道支社 / 東北支社 / 中部支社 / 関西支社 / 四国支店 / 中国支社 / 九州支社 / 沖縄支店）

研究所 4拠点（サステナブルテクノロジー研究所 / エレクトロニクス研究所 フォトニクス研究所 / マテリアル研究所）

4つのコア技術で3つの事業セグメント
国内外に誇るシェアトップクラス製品群

3つの事業セグメント

- インフラ
- 電装エレクトロニクス
- 機能製品

ワイヤハーネス
国内トップクラス

光ファイバ・ケーブル
世界トップクラス

ステアリング・ロール・コネクタ
世界 No.1

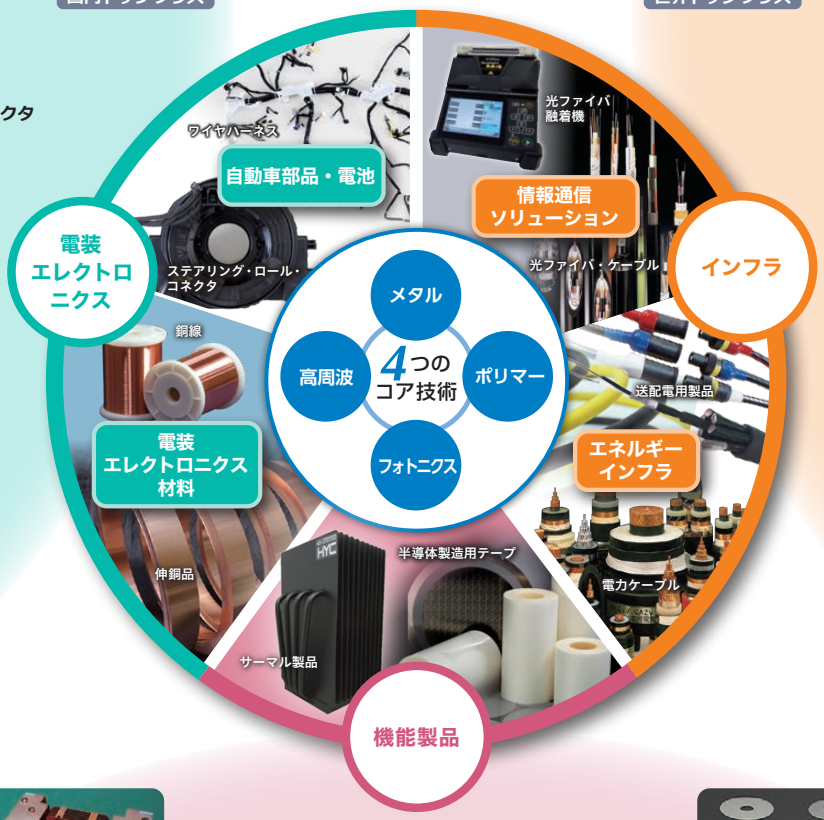
通信用波長可変光源
世界トップクラス

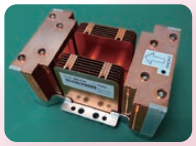
鉄道車両用
アルカリ蓄電池
国内トップクラス

海底用電力ケーブル
国内トップクラス

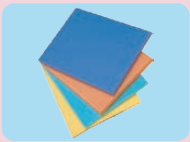
チップインダクタ用
極細平角線
世界 No.1

高機能型低圧アルミ導体
CVケーブル
国内 No.1





ヒートパイプ式
ヒートシンク
世界トップクラス



架橋発泡
ポリオレフィン
世界トップクラス

地中埋設用ケーブル保護管
「エフレックス」
国内 No.1

ハードディスクドライブ用
アルミブランク材
世界 No.2

製品の詳細はこちら⇒
https://www.furukawa.co.jp/product/

古河電工グループの研究開発・新事業創出活動

古河電工グループは、「地球環境を守り」「安全・安心・快適な生活を実現する」ため、情報/エネルギー/モビリティが融合した社会基盤の創出を目指し、研究開発に取り組んでいます。

研究開発活動

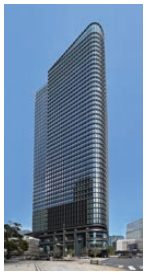
当社グループは、国内の当社研究所および海外には、Lightera Laboratories, LLC、Furukawa Electric Institute of Technology Ltd.（FETI）、SuperPower Inc.、Silicon Valley Innovation Laboratories, Furukawa Electric（SVIL）等の研究所を有しています。デジタルトランスフォーメーション&イノベーションセンター（DXIC）によりデジタル化を進めるとともに、ソーシャルデザイン統括部によりマーケティング・インキュベーション機能を強化し、積極的に新事業創出活動を推進しています。

国内拠点

横浜

平塚

千葉


本社

日光

今市

三重

滋賀

刈谷

研究開発本部
- 企画統括部（本社・横浜・千葉・平塚・日光）
- サステナブルテクノロジー研究所（横浜・平塚・滋賀）
- エレクトロニクス研究所（横浜・千葉・平塚・滋賀）
- フォトニクス研究所（千葉・平塚）
- マテリアル研究所（千葉・平塚・日光）
- 超電導事業推進部（本社・平塚・日光）
- 知的財産部（横浜・千葉・平塚）
- フロンティア統括部（横浜）

戦略本部
- デジタルトランスフォーメーション&イノベーションセンター（本社・横浜）

営業統括本部
- ソーシャルデザイン統括部（本社・横浜・千葉・平塚）
- レーザ応用事業部（千葉・刈谷）

海外拠点

Lightera Laboratories
米国：ニュージャージー州

SuperPower
米国：ニューヨーク州

FETI
ハンガリー：ブダペスト

SVIL
米国：サンノゼ

研究開発・新事業創出活動の詳細はこちら⇒
https://www.furukawa.co.jp/rd/profile/index.html

ビジョン2030の達成に向けた研究開発・新事業創出活動

Pick up!

社会インフラ維持管理ソリューション

古河電工独自のDX技術により、道路附属物管理の課題解決に貢献する「みちてん®」に加え、鉄道事業者向けに「てつてん®」も新たに開発。鉄道事業各社のスタイルに合わせた点検業務効率化に貢献します。

道路附属物維持管理ソリューション「みちてん®」シリーズ
https://www.furukawa.co.jp/infra-maintenance/

沿線設備維持管理ソリューション「てつてん®」
https://www.furukawa.co.jp/tetsuten/

Pick up!

インフラレーザ®

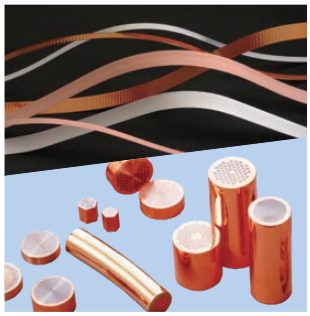
産業用レーザで培った技術を応用した表面処理ソリューションにより、鉄道・船舶や橋梁などのインフラ構造物の錆取り・塗膜除去などの人体や環境への負荷を軽減し、メンテナンス作業の効率化に貢献します。

インフラレーザ®による錆取り・塗膜除去

Pick up!

フュージョンエネルギー産業協議会（J-Fusion）に常任理事として参画

低温超電導技術と高温超電導技術の両方を持つ企業として、日本のフュージョンエネルギー産業の発展と持続可能な社会の実現に向け、その実用化に貢献します。



「『つづく』をつくり、世界を明るくする。」を体現する企業グループへ

古河電工グループは昨年、「『つづく』をつくり、世界を明るくする。」というパーパスを制定しました。

創業者 古河市兵衛の「日本を明るくしたい」という思いを受け継ぎ、磨き続けてきた「メタル」「ポリマー」「フォトニクス」「高周波」の４つの技術力とそれらに基づく提案力を強みとして、情報通信やエネルギーなどのインフラ分野、自動車部品分野、あるいはエレクトロニクス分野などにおいて、安心・快適な暮らしや社会の進歩・発展が『つづく』ことを目指して、様々な社会課題の解決に取り組んで参りました。最近では、SDGsやカーボンニュートラルといった観点からもこの課題の範囲は益々広がっています。

当社グループは、このパーパスの実現に向けた当面の目標を「古河電工グループ ビジョン2030」の達成として、新たな技術・製品・サービスの創出や事業の強化・変革を進めております。

よりよい未来への『つづく』をつくること、そして世界を明るくすることに繋がるように、この取り組みを継続・強化して、ステークホルダーの皆様からの当社グループに対する持続的成長への期待に応えてまいります。

代表取締役社長

森平英也

会社概要

商　　号:　古河電気工業株式会社

社　　長:　森平 英也

創　　業:　1884年

設　　立:　1896年6月25日

資 本 金:　69,395百万円　（2025年3月末）

売 上 高:　1,201,762百万円（連結）
　353,520百万円（単体）　（2025年3月期）

従業員数:　51,167名（連結）
　4,433名（単体）　（2025年3月末）

本　　社:　〒100-8322
東京都千代田区大手町2丁目6番4号（常盤橋タワー）

財務状況はこちら⇒
https://www.furukawa.co.jp/ir/achievements/

創業者の思い

古河グループの創業者である古河市兵衛は、
「日本を明るくしたい」という思いのもと、

従業員を大切にせよ
お客様を大切にせよ
新技術を大切にせよ
そして、
社会に役立つことをせよ

と語っていました。
当社は、この言葉をDNAとして大切に紡ぎ、
1884年の創業以来邁進してきました。
「3つの大切」をしっかりと受け継ぎ、
持続可能な社会の実現に貢献していきます。

創業者　古河市兵衛

FURUKAWA ELECTRIC GROUP

古河電工グループ パーパス

「つづく」をつくり、世界を明るくする。

日々の当たり前の暮らしが、安心・快適につづくこと。
今日よりも豊かな明日へ、社会の進歩・発展がつづくこと。
人と地球の共生が、いつまでも幸せにつづくこと。

よりよい未来へとつながる、そんな「つづく」を、
絶え間ないイノベーションで、つくり、支える。
それが、私たちの存在意義。

さまざまな社会課題に向き合い、
インフラをはじめ、あらゆる領域を超えて挑戦する。
1884年の創業以来、誠実に磨きつづけてきた、
技術力と提案力を強みに。

私たちは今日もつくりだす、未来への「つづく」を。
世界を明るくするために。

「古河電工グループ パーパス」
のページはこちら⇒
https://www.furukawa.co.jp/purpose/

古河電気工業株式会社　https://www.furukawa.co.jp/

本社　〒100-8322　東京都千代田区大手町２丁目６番４号（常盤橋タワー）　TEL. (03) 6281-8500（代表）

古河電工は
ジェフユナイテッド市原・千葉
を応援しています。

・このカタログの記載内容は2025年5月31日現在のものです。
・このカタログの内容は断りなく変更することがありますのでご了承ください。
・このカタログに記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

輸出管理規制について　本書に記載されている製品・技術情報は、我が国の「外国為替及び外国貿易法並びにその関連法令」の適用を受ける場合があります。また、米国輸出管理規則（EAR：Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本書に記載されている製品・技術情報を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において、必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては、経済産業省 または 米国商務省へお問い合わせください。

I-236 2506 TR 100